

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

—— 創立指揮者 渡邊暁雄 ——

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

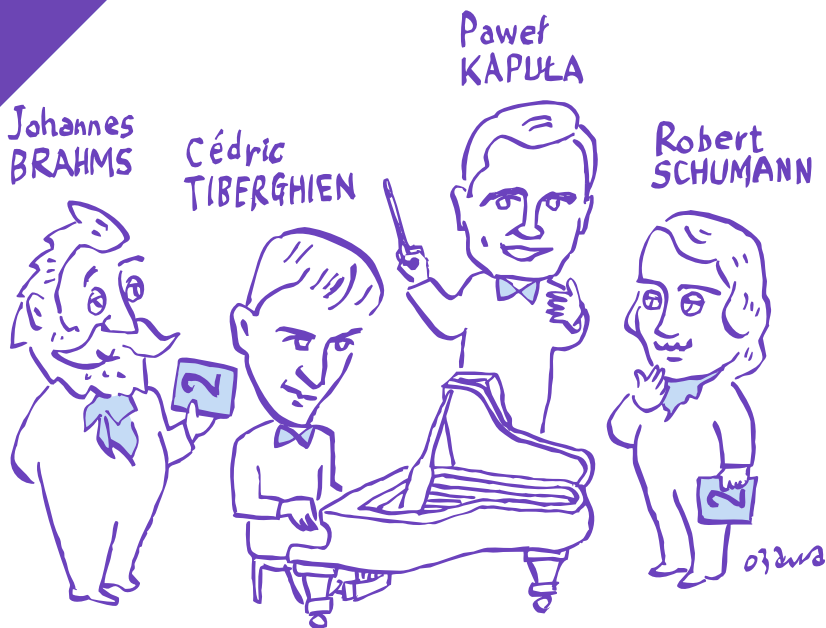
SUBSCRIPTION CONCERTS

2024

12

DEC

第 766 回
東京定期演奏会



サントリーホール

2024年11月29日(金) 19:00 11月30日(土) 14:00

日本フィルハーモニー交響楽団

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

電源 OFF	アラームOFF 電源OFF	演奏中は携帯電話や時計のアラームなどデジタル機器の電源はお切りください。
音にご注意を	ビニール袋	マジックテープやファスナーの音 靴にしまし、またはいすの下へ置くなど物音がたたないようにご配慮ください。
	船の袋	鈴などアクセサリがついたストラップ 靴にしましなど鳴らないようにご配慮ください。
	補聴器の音	ハウリングをおこさないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。
声と拍手にご注意を	私語 せき	演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから最後の余韻までお楽しみください。
撮影禁止	録音禁止 録画禁止 写真撮影禁止	演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。 ※演奏終了後に写真撮影可能な公演がございます。 詳細は公演時にご案内いたします。
周囲にご配慮を	身を乗り出さない つかの広い/高さのある帽子	席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮っていることもございます。周囲にご配慮を。



終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

- ・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
- ・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
- ・フラッシュの使用はお控えください
- ・動画の撮影はお控えください
- ・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
- ・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
- ・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりごみにご注意ください
- ・自撮り棒などの使用はお控えください
- ・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください(録音・録画は違法行為です)

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ #日本フィル #japanphil をつけてください!

目次 CONTENTS



©Kamil Szkopik

■ プログラム	4
■ 出演者プロフィール	6
■ プログラム・ノート- 奥田 佳道 -	8
■ 写真プレイバック- 2024年9月~10月 -	11
■ 次回東京定期演奏会 指揮者にインタビュー 山田 和樹編	12
■ 今後の日本フィル出演公演	14
■ 広上淳一&日本フィル「オペラの旅」Vol.1《仮面舞踏会》記者懇談会レポート	16
■ 2025年春季セット券	20
■ あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ	21
■ 感動の共有 ~ご支援のお願い~	29
■ 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	30
■ パトロネージュご芳名	34
■ Member's TVU CHANNEL 配信一覧	36
■ シーズン移行について	37
■ インフォメーション	38
■ 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 名簿	39

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 766th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第766回 東京定期演奏会



サントリーホール Suntory Hall

2024年11月29日(金)午後7時開演 / 30日(土)午後2時開演
7:00p.m., Friday, 29th & 2:00p.m., Saturday, 30th November, 2024

■ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今月は奥田佳道さんです。

金曜日 / 18:30 ~
土曜日 / 13:20 ~

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
協賛 / 株式会社ウテナ 鹿島建設株式会社
三井不動産株式会社
ホッカンホールディングス株式会社
UBE株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄

後援: ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

ブラームス: ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 op.83

約47分

Johannes BRAHMS: Concerto for Piano and Orchestra No.2 in B-flat major, op.83

休憩(15分) Intermission

シューマン: 交響曲第2番 ハ長調 op.61

約42分

Robert SCHUMANN: Symphony No.2 in C-major, op.61

※当初発表の指揮者より変更になりました

指揮: パヴェウ・カプワ

Conductor: Paweł KAPUŁA

ピアノ: セドリック・ティベルギアン

Piano: Cédric TIBERGHIEIN

コンサートマスター: 木野 雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ: 門脇 大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

ご自宅で
公演の感動を
何度でも

11月29日(金)公演は後半演奏曲 ライブ&アーカイブ配信あり!

販売期間: ~2025年5月28日
視聴期間: 購入から3か月
料 金: 1,000円

Member's TVU CHANNELにて配信
<https://members.tvuch.com>



現在配信中の公演及び配信予定はP36をご覧ください



Conductor

指揮

パヴェウ・カプワ

Paweł KAPUŁA

©Kamil_Szkopik

ポーランド国営ラジオ局から「ポーランド指揮界の真の希望」と称賛されたパヴェウ・カプワは、若手世代の中でも最も華やかで、最も優れた指揮者の一人である。卓越した指揮テクニックに裏打ちされた、エキサイティングで新鮮、かつ非常に魅力的な解釈で高い評価を得ている。挑戦を恐れないカプワのプログラムと指揮スタイルは、高いレベルの繊細さと創造性を示しており、ヨーロッパをはじめとする世界中で存在感を増している。現在、ポーランドのポメラニアン・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者を務める。

2024/25年シーズンには、ハンブルク交響楽団、デンマーク室内管弦楽団、ロベルト・シューマン・フィルハーモニー、日本フィルハーモニー交響楽団、西安交響楽団、貴陽交響楽団といった世界有数のオーケストラでデビューを果たす。また、アルスター管弦楽団、インゴルシュタット・ジョージア室内管弦楽団やロイトリンゲン・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団 などとは定期的に共演を重ねている。

これまでに、オスロ・オペラ管弦楽団やオーフス交響楽団などにデビューを果たし、ヨーテボリ・オペラ管弦楽団、バーゼル交響楽団、南西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団（コンスタンツ）や、母国のポーランド国立放送交響楽団、ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団などと共演している。

最新録音は、プラハのルドルフィナムで行われたプラハ・フィルハーモニー管弦楽団とのベートーヴェンのピアノ協奏曲集が国際的にリリースされたばかりである。また、ポーランドの無名作曲家の作品をポーランド放送のために数多く録音している。

7歳で初めてピアノのレッスンを受け、クラクフ音楽院でタデウシュ・ストウルガラとスタニスワフ・クラヴチンスキに指揮を師事。2013年にヴロツワフで開催された第1回アダム・コピチンスキ学生指揮者コンクールで最終選考に残り、優秀賞を受賞した。

<https://www.pawelkapula.com/>
Instagram@pawelkapula
X @pawelkapula



Piano

ピアノ

セドリック・ティベルギアン

Cédric TIBERGHIE

©Ben Ealovega

フランスのピアニスト、セドリック・ティベルギアンは、輝かしい国際的なキャリアを確立し、カーネギー・ホール、ケネディ・センター、アムステルダム・コンセルトヘボウ、クイーン・エリザベス・ホール、バービカン・センター、ザルツブルクのモーツァルテウム等、世界で最も名声の高いホールに登場している。

2022/23シーズンは、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に再登場（メシアン：トゥーランガリラ交響曲）、またフランス国立管弦楽団、バーミンガム市交響楽団等で演奏。

2023/24シーズンは、アトランタ交響楽団にデビュー、またロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、サンフランシスコ交響楽団、リヨン国立管弦楽団に再登場する。また、ロンドンのウィグモア・ホールとのつながりは長く、今シーズンも続く「ベートーヴェン変奏曲」プロジェクトの第5弾で、他の作曲家の作品を並べ、このジャンルの進化を示している。この他にもベルリンのピエール・ブレーズ・ザール、マーラー室内管のヒッツアッカー音楽祭にも出演する。

これまでロンドン交響楽団、ポストン交響楽団、クレーヴランド管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー交響楽団、パリ管弦楽団等と共演、またクリストフ・エッセンバッハ、イルジー・ビエロフラーヴェク、シモーネ・ヤング、フランシス＝グザヴィエ・ロト、ヤニック・ネゼ＝セガン、ステファン・ドヌーヴ等世界的指揮者と共演。

パリ国立高等音楽院で研鑽を積み、1992年わずか17歳でプルミエ・プリを受賞。1998年、ロン＝ティボー国際コンクールで優勝、合わせて聴衆賞とオーケストラ賞を含む5つの特別賞も受賞。これにより、彼の国際的なキャリアがスタート。60曲を超える協奏曲のレパートリーを持ち、世界の一流オーケストラと共演を重ねている。セドリック・ティベルギアンは室内楽にも熱心に取り組んでおり、特に、アリーナ・イブラギモヴァ（vn）、アントワン・タメスティ（va）とは定期的にパートナーを組んでいる。

プログラム・ノート 解説: 奥田 佳道

❖ ブラームス: ピアノ協奏曲第2番 変口長調 op.83

芳醇な調べにいだかれる。全4楽章。ピアノとオーケストラが醸す叙情美、劇的構築はまさに比類がない。

牧歌的な調べと高揚感をあわせもつ第1楽章、テンポの速い3拍子で書かれた烈しい第2楽章に胸ときめく。交響曲のスケルツォ楽章に通じる二短調の第2楽章でピアニストが挑むのは、音の跳躍や重音もキーワードとなる難しいパッセージだが、ヨハネス・ブラームス(1833-1897)がその場面(同楽章の中間部)で求めているのは、強さや硬さではなく、軽やかに浮遊する響きなのだ。

いっぽう、憩い、安らぎを愛でるかのような楽章も曲の美質となる。トランペットとティンパニを「休ませた」第3、第4楽章の創りに、あらためて驚く。

若き日の肖像たる情熱的なピアノ協奏曲第1番二短調、ヴァイオリンの偉人ヨーゼフ・ヨアヒムに捧げたヴァイオリン協奏曲二長調同様、このピアノ協奏曲第2番変口長調も19世紀中葉以降のコンチェルトのありようを超えた壮大な作品である。

ハンブルク出身の北ドイツ人ブラームスにウィーン定住を勧めたウィーン音楽界の論客エドゥアルト・ハンスリックは、2曲のピアノ協奏曲のことを「ピアノ(によるオブリガート)付きの交響曲」と呼んだ。ブラームス芸術の擁護者で彼の作品を概ね好意的に聴いてきた歴史的な批評家ハンスリックだが、さていささか

皮肉を込めたか。

ピアノ協奏曲第2番の創作が佳境を迎えたのは1881年の初夏。ブラームスこのとき48歳。親友の外科医テオドル・ビルロート教授とのイタリア旅行から戻り、ウィーン近郊のプレスバウムという村で英気を養いつつペンを執っている。

秋から陽春にかけて演奏活動で多忙だったブラームスは、風光明媚な避暑地で曲のスケッチを書く「夏の作曲家」だった。他のドイツ人芸術家同様、イタリアの陽光も好んだ。

1881年7月、ブラームスは教え子のピアニスト、エリーザベト・フォン・ヘルツォーゲンベルクに宛て、洒落っ気に満ちた手紙を書く。

「情愛に満ちた小さなスケルツォの付いた、まったく小さなピアノ協奏曲を作曲しました」。

1859年にハノーファーで披露したピアノ協奏曲第1番二短調を酷評され苦い思いを味わったブラームスは、二番目のピアノ協奏曲に慎重な姿勢で臨む。ウィーンでは2台ピアノ版による試演会も行なった。

曲は1881年11月に、ブラームス自身のピアノによりブダペストの由緒ある演奏会場で初演された。その翌月、ハンス・リヒター指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の定期演奏会でウィーン初演が行われ、やはりブラームスがピアノを弾いている。

味わい深いホルンほか、聴きどころは枚挙にいとまがない。第3楽章で主役を演じるチェロのソロもブラームスならではの筆致だ。

あのチェロ独奏の調べは、自作の歌曲「まどろみはいよいよ浅く(私の眠りはますます浅くなり)」から採られたが、引用ではなく変容だ。チェロ独奏が回帰する前に、クラリネットが遠隔調で奏でているのは、歌曲「死へのあこがれ」のエコーである。ブラームスは、緩徐楽章にチェロのソロを添えたクララ・ヴィーク＝シューマンのピアノ協奏曲イ短調、あるいはリストのピアノ協奏曲第2番イ長調を知っていたのだろうか。

最終第4楽章を彩るロマ舞曲風のフレーズも私たちの喜びとなる。前述の

❖ シューマン: 交響曲第2番 八長調 op.61

信号音のように響く冒頭のトランペットからドラマが始まる。

ウィーン古典派の交響曲や劇音楽の序曲に連なる八長調の序奏だが、寄り添う弦楽は半音階を交え、どこか不安げである。

管弦楽器を、管弦楽法のセオリー以上に重ね合わせ、独自の多層的音彩を創る。鍵盤芸術や歌の調べ、詩の韻から派生したと思われるパッセージも多い。いずれもドイツ・ロマン派の化身ローベルト・シューマン(1810-1856)の美学だ。

曲は、シューマンがつけていた家計簿/日記によれば、1845年12月12日にドレスデンで書き始められた。シューマンこのとき35歳。前年までゲヴァントハウス管弦楽団や音楽院のある商都ライプツィヒ

ように(第3、第4楽章に)トランペットとティンパニは出てこない。愉悦のロンド・フィナーレだが、独特の軽み、陰りも素晴らしい。管弦楽法は最後まで凝っている。

第1楽章:アレグロ・ノン・トロppo、変口長調、4分の4拍子

第2楽章:アレグロ・アパッショナート、二短調、4分の3拍子 (スケルツォ)

第3楽章:アンダンテ、変口長調、4分の6拍子

第4楽章:アレグレット・グラツィオーソ〜ウン・ポコ・ピウ・プレスト、変口長調、4分の2拍子 (ロンド)

楽器編成: 独奏ピアノ、フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部。

で創作や指導に勤しんでいたが、この悩める天才は静かな環境を求めていたのか、同じザクセン(州)の古都ドレスデンに移っていたのだった。かの地でピアノ協奏曲イ短調作品54が完成している。

シューマンは交響曲第2番の創作と呼応するかのように、親友メンデルスゾーンに次のような手紙を書いている。

「数日前から私の頭のなかで、ずっと太鼓(ティンパニ)と八調のトランペットが鳴っています。ここから何が生まれるのでしょうか」

いっぽうシューマンと言えば、1839年にウィーン楽友協会の司書から筆写譜を譲り受けたシューベルトの交響曲第8番八長調通称《ザ・グレート》に、誰よりも想い入れがある。メンデルスゾーン指

揮ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団による《ザ・グレート》の歴史的蘇演(1839年3月21日)には立ち会えなかったが、その後聴く機会に恵まれ、美しい言葉も遺している。そして何と交響曲第2番の創作が始まるかという1845年12月にも、ドレスデンで《ザ・グレート》を耳にしているのだ。晴朗なハ長調で交響曲を書くことは、シューマンにとって芸術的な必然にしてひとつの帰結だった。

しかし、かねてから患っていた幻聴に悩まされ、完成までには思いのほか歳月を要する。後に改訂されたとはいえ、自身の「春」をも映し出す交響曲第1番変口長調(1841年3月31日にメンデルスゾーン指揮ゲヴァントハウス管弦楽団が初演)のように一気呵成に書くわけにはいかなかった。

スケッチは1845年12月下旬に書き終えたようだが、体調不良や芸術上の葛藤もあり、オーケストレーション(管弦楽化)は見送られる。交響曲第2番がいちおう完成したのは、それから10か月後の1846年10月で、同年11月5日にメンデルスゾーン指揮ゲヴァントハウス管弦楽団により初演される。出版に際し改訂も施された。

以上のような創作の経緯や楽想から、19世紀中葉以降のドイツ語圏では、ベートーヴェンの通称《運命》や「第9」との関連で語られることもあった。自身が置かれた過酷な状況(苦悩)を克服し、歓喜、勝利に至るベートーヴェン的な方法論で創られた交響曲と見なされたわけだが、ウィーン古典派の流儀を遵守しつつ魔境的な調べを紡いだシューマンは、そうした声を否定しなかったようである。

実際、鍵盤芸術から派生したかのよう

なアレグロ・ヴィヴァーチェの第2楽章に、ベートーヴェンからの好ましい影響が見て取れる。2つのトリオ(中間部)を挟んだ5部構成のスケルツォ。交響曲第4番、第6番《田園》、第7番から受け継いだ筆致だろう。ベートーヴェンのスケルツォは同じトリオを2回繰り返すスタイルとはいえ、関係性は明らかである。

内なる尽きせぬ音楽への想いがついに溢れ出たのがアダージョの第3楽章で、あの胸をうつ跳躍音型はバッハの《音楽の捧げもの》トリオ・ソナタ ハ短調から採られた。

巧緻を極めた第4楽章にも喝采を。終盤には、ベートーヴェンの連作歌曲集《はらかな恋人に》の終曲「(お別れに)この歌を聴いて、愛する君のために歌ったこの歌を」の主題が舞う。妻クララの想いだろうか。

偉大な先人の筆致や調べをさりげなく織り込みつつ、有機的な管弦楽法に自信を深めた交響曲作家シューマンがここにいる。逸品だ。

第1楽章: ソステヌート・アッサイ〜アレグロ・マ・ノン・トロppo、ハ長調、序奏:4分の6拍子、主部:4分の3拍子

第2楽章: スケルツォ、アレグロ・ヴィヴァーチェ、ハ長調、4分の2拍子

第3楽章: アダージョ・エスプレッシヴォ、ハ短調、4分の2拍子

第4楽章: アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ、ハ長調、2分の2拍子

楽器編成:フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、弦楽5部。

Playback

プレイバック

9月、10月の公演を
振り返ります



PHOTO 1 9月25日 にじくら第5回
完売御礼、満員のお客様をお迎えしました! モーツァルトのトルコ風で美しい音色を届けてくださった竹澤恭子さん、広上淳一マエストロ、高橋克典さん、コンマス扇谷と。後半は大河ドラマ&映像作品セレクションをお楽しみいただきました。



PHOTO 2 9月28日 コバケン・ワールドin KYOTO Vol.4
29日 コバケン・ワールドVol.37
毎回完売する大人気のコバケン・ワールド。今回はソリストに高木凜々子さんをお迎えしてロームシアター京都と昭和女子大学人見記念講堂で開催しました。次回Vol.38は2025年1月!



PHOTO 3 10月5日 横浜定期演奏会
久々の「輝け!アジアの星☆」フレッシュながら充実の音色を届けた出口大地マエストロとチェロの鳥羽咲音さん。コンマス扇谷と記念撮影!



PHOTO 4 10/13 UBEクラシックコンサート
17回目となった宇部公演。今年は大井剛史さんと高木綾子さん(フルート)と共に、モーツァルトのフルート協奏曲第2番やオーケストラの小品をお届けいたしました。



PHOTO 5 10月13日~14日
那須塩原市中学校吹奏楽フェスティバル
木管五重奏でゲスト出演。中学生の皆さんの熱演に交じり、単独演奏と合同演奏を行いました。質問コーナーでは演奏技法から緊張しない方法までたくさんの熱心な質問が。身近に聴くプロの音色に聴き入る生徒の皆さんと心を通わせました。



PHOTO 6 10月18日、19日 東京定期演奏会*
小林研一郎マエストロの指揮で、ピアノに高木竜馬さんを迎えたこの公演は両日も完売! 満員のお客様にラフマニノフのピアノ協奏曲第2番とブラームスの交響曲第1番をお届けいたしました。

*日本フィルのライブ・アーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
<https://members.tvuch.com>



NEXT CONCERTS
》》 次回東京定期演奏会

第 **767** 回

サントリーホール

プレートーク 山田 和樹氏

2025年1月17日(金)19:00開演 18:30~

18日(土)14:00開演 13:20~ 熟練者少

まさに「威風堂々」!たる
イギリス音楽プログラム

指揮: **山田 和樹**

ヴァイオリン: **周防 亮介***

エルガー: 行進曲《威風堂々》第1番

ヴォーン=ウィリアムズ: 揚げひばり*

エルガー: 交響曲第2番



1回券料金 S ¥8,500 A ¥7,000 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,500 Ys (25歳以下) ¥2,000

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

山田 和樹 編

きき手 山崎 浩太郎

今年のシカゴ交響楽団とニューヨーク・フィルへのデビューに続き、2025年6月にはベルリン・フィルへのデビューが予定され、活躍の場をますます広げている山田和樹さん。「自分がいちばん最初にファンになったオーケストラ」という日本フィルとのつながりを大切にされ、「これからも年に最低1回は出ます」。

今回は、バーミンガム市交響楽団の音楽監督として英国愛を強めるマエストロによる、イギリス・プログラムです。

一まず、エルガーの行進曲《威風堂々》第1番ですね。

山田「思い出の曲なんです。自分が入った高校の吹奏楽部は、生徒が指揮をするんです。1年生から全員で指揮をしてみても選ばれる。最後まで残ると自分の好きな曲をやれるんですが、そのとき選んだのがこの曲なんです。

バーミンガム市交響楽団と演奏したとき、何百回も演奏した曲だろうけど、僕にとって

は特別な曲なんだよと、この話をしたんです。すると、とても感動的に演奏してくれた。よかつたなと思っていたら、エキストラの奏者が寄ってきて、その吹奏楽版の編曲者の名前を覚えているかと聞いてきた。もちろん覚えていない(笑)。でも外国人だったと思う、と答えたら、きっとそれはこのオーケストラに以前いたヴァイオリン奏者の旦那さんだ、と言うんです。世界は狭いなと、縁を感じましたね」

一たしかに不思議な縁ですね。お好きになったきっかけは?

山田「中学生ぐらいのとき、まずピアノ譜で知りました。何かのピアノ曲集にアレンジされて入っていたんです。弾いてみていい曲だなと思って、それで高校ではこの曲を選びました。

そのあと、イギリスにはプロムスという夏の音楽祭があって、最後の日には、この曲をお客さんがみんな歌い、風船を飛ばしたりするなかで演奏すると知り、いつかそこへ行きたいと思うようになりました。

そのころは、バーミンガムという名門オーケストラで《威風堂々》を指揮する日が来るなんて、夢にも思っていなかった。僕の音楽人生の、象徴的な曲なんです」

一その曲を、あらためて日本で演奏するわけですね。

山田「そうです。ただ、日本フィルもさんざん演奏してきた曲だけに、どうリフレッシュするか。その点に気をつけてやってみます」

一続いて、ヴォーン=ウィリアムズの「揚げひばり」。

山田「僕は今までヴォーン=ウィリアムズの作品をあまり指揮してなくて、この曲も初めてなんですが、大切なのはイマジネーションだと思います。イギリスのどの作曲家にも共通して感じるのは、イギリスの自然と結びついていることです。かれらが暮らした場所に行くと、その風景と音楽に強い結びつきを感じます。キリスト教より前の、ケルト系のブリトン人が暮らしていた時代からの、土着の神様と自然が結びついていて、音楽もそこにつながっている。バーミンガムに来てから、そう感じるようになりましたね。」

一ヴァイオリン独奏は周防亮介さんですね。

山田「この曲には周防さんがいいなと、ピンときたんです。歌心、歌いまわしが素晴らしいし、他の誰とも似ていない、独自の感性を持っている方ですから」

一メインはエルガーの交響曲第2番。

山田「これも初挑戦なので今勉強していますが、とにかく難しい。でも、噛めば噛むほど味が出てくる曲ですね。イギリスのオーケストラはこの曲をすごく大切にしています。エルガーには古きよき時代、大英帝国のいちばんいい時代を思い出させる要素があるのでしょうか。」

エルガーは美しいメロディ、心に響くメロディを書ける人で、この曲も第2楽章に深い歌謡性があります。また全体的には、音の宮殿、音の建築物のような、堂々とした威厳と品格がありますね。この曲を通じて、イギリス独特の風格を感じていただけたらと思います。」

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



今後の日本フィル出演公演 2024年12月～2025年2月

2024	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
12月	宇都宮第九合唱団 第43回演奏会 宇都宮市文化会館大ホール 7[土]15:30	指揮:下野 竜也 ソプラノ:今井 実希 メゾソプラノ:郷家 暁子 テノール:濱松 孝行 バリトン:大川 博 合唱:宇都宮第九合唱団 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》 他	好評発売中 お問合せ: 宇都宮第九合唱団
	第24回相模原定期演奏会 相模女子大学グリーンホール 8[日]14:00	指揮:下野 竜也 ピアノ:伊藤 恵* (出演者が変更になりました) ベートーヴェン:歌劇《フィデリオ》序曲 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》* ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》	好評発売中 日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	日本フィル・ソニックシティ 「第九」演奏会2024 ソニックシティ 13[金]19:00	指揮:下野 竜也 ソプラノ:富平 安希子 アルト:小泉 詠子 テノール:糸賀 修平 バリトン:宮本 益光 合唱:埼玉第九合唱団 ニコライ:歌劇 《ウィンザーの陽気な女房たち》 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》	好評発売中 日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	第九特別演奏会2024 サントリーホール、 横浜みなとみらいホール他で開催 15[日]～28[土]	はさみこみのチラシをご覧ください	好評発売中 日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪

2025	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
1月	第147回さいたま定期演奏会 ソニックシティ 11[土]14:00	指揮:沼尻 竜典 ヴァイオリン:三浦 文彰 ブラームス:ヴァイオリン協奏曲 ドヴォルジャーク: 交響曲第9番《新世界より》	好評発売中 日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	コバケン・ワールドVol.38 サントリーホール 12[日]14:00	指揮とお話:小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者] ヴァイオリン:田野倉 雅秋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター] J.シュトラウスII世: ワルツ《美しく青きドナウ》 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ドヴォルジャーク: 交響曲第9番《新世界より》	好評発売中 日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 [平日10時-17時]
日本フィルeチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。www.japanphil.or.jp

2025	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
1月	第767回東京定期演奏会 サントリーホール 17[金]19:00 18[土]14:00	指揮:山田 和樹 ヴァイオリン:周防 亮介* エルガー:行進曲《威風堂々》第1番 ヴォーン・ウィリアムズ:揚げひばり* エルガー:交響曲第2番	好評発売中 日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	2025都民芸術フェスティバル すみだトリフォニーホール 21[火]19:00	指揮:高橋 直史 ヴァイオリン:南 紫音 吉松 隆:鳥は静かに・・・ シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 シベリウス:交響曲第2番	お問合せ: 日本演奏連盟事務局
	第404回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 25[土]17:00	指揮:藤岡 幸夫 フルート:Cocomi 武満徹:組曲《波の盆》 モーツァルト:フルート協奏曲第2番 ルグラン: 交響組曲《シェルブールの雨傘》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	東京オペラシティ特別演奏会 東京オペラシティコンサートホール 26[日]14:00	指揮:園田 隆一郎 ギター:村治 佳織 ナビゲーター:高橋 克典 ロドリゴ:アランフェス協奏曲 サン＝サーンス:交響曲第3番 《オルガン付き》(オルガン:勝山 雅世)	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット♪
	にじくら～トークと 笑顔と、音楽と 第6回 サントリーホール 29[水]14:00	指揮:藤岡 幸夫 ピアノ:阪田 知樹 グリーグ:ピアノ協奏曲 シベリウス:交響曲第2番	お問合せ: 杉並公会堂
	日本フィル杉並公会堂シリーズ 2024-2025 第3回 杉並公会堂 31[金]15:00	指揮:下野 竜也 お話:加藤 昌則 ベルリオーズ:ローマの謝肉祭 ベルリオーズ:幻想交響曲	お問合せ: ひらしん 平塚文化芸術ホール
	素敵な音楽人へ with 日本フィルハーモニー交響楽団 ひらしん平塚文化芸術ホール 2[日]15:00	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:仲道 郁代(2/11, 12, 14, 15, 19) チェロ:宮田 大(2/8, 9, 16, 18)	日本フィルeチケット♪
	第50回九州公演 日本フィル in KYUSHU 2025	エルガー:行進曲《威風堂々》第1番(全日程) エルガー:チェロ協奏曲(2/8, 9, 16, 18) シヨパン: ピアノ協奏曲第1番(2/11, 12, 14, 15, 19) チャイコフスキー: 交響曲第5番(2/8, 12, 14, 16, 19) ムソルグスキー(ラヴェル編曲): 組曲《展覧会の絵》(2/9, 11, 15, 18)	
	8[土]15:00 長崎市民会館 9[日]14:00 大牟田文化会館 11[火・祝]14:00 北九州ソレイユホール 12[水]19:00 iichikoグランシアタ 14[金]19:00 都城市総合文化ホール 15[土]14:00 宝山ホール(鹿児島県文化センター) 16[日]14:00 アクロス福岡シンフォニーホール 18[火]19:00 佐賀市文化会館 19[水]19:00 熊本県立劇場コンサートホール		

広上淳一 & 日本フィル 「オペラの旅」Vol.1《仮面舞踏会》 記者懇談会レポート

2024年10月24日、東京音楽大学にて記者懇談会を行いました。多くの音楽・報道関係者の皆様にお集まりいただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。以下に記者懇談会の内容をご報告いたします。

平井 俊邦(日本フィル理事長)

来年4月、日本フィルは広上淳一氏とともに、新しいプロジェクト「オペラの旅」をスタートします。第1回目はヴェルディの《仮面舞踏会》です。1989年、シドニー・オペラハウスで広上さんがはじめて指揮をした、思い出のオペラでもあります。サントリーホールというすばらしい響きのホールで、舞台空間を生かしたセミ・ステージ形式で、オペラの魅力をたっぷりお届けします。オーケストラファンの皆様には、ヴェルディが声を使った交響曲だと思って聴いてほしいと願っています。

広上マエストロにはこれまでも大きなサポートをいただいていたのですが、日

本フィルが大きく飛躍できる新しいプロジェクトに取り組もうと話し合い、この「オペラの旅」という大きな挑戦を、自らの力でやっつけていこうと決意いたしました。

ピットに入っている回数は少ないですが、日本フィルの音は、実はオペラに向いているのではないかと考えております。広上マエストロとともにこのプロジェクトを通してまたひとまわりオーケストラとしても成長していく姿にご期待ください。お客様には身近にオペラの楽しさを体験する機会を広げていただければと願っております。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]

1984年、オランダで開催されたキリル・コンドラシン国際コンクールで優勝した際、審査委員長だったベルナルト・ハイティンク先生に、「指揮者として成長する中で、オーケストラに育てられたことへの感謝を感じる時がきっと来る。その

ことを心に留めておきなさい。」と言葉をかけられました。

日本フィルとの出会いは、私の人生を大きく変えました。私を育ててくれたオーケストラです。思い返せば、日本フィルとは、1982年のコンクールではじめて

演奏しました。これが日本フィルハーモニー交響楽団との長い歴史の始まりだったと記憶しています。そして1988年に東京文化会館での日本フィルの東京定期演奏会でデビューを果たしました。それから42年間の付き合いです。正指揮者の時期を経て、現在「フレンド・オブ・JPO」という名をいただいたのも、私の深い感謝の表れです。

2年前には東京定期演奏会で《道化師》を演奏会形式で行いましたが、これは日本フィルのオペラ演奏の素晴らしさを再認識する機会となりました。今回、信頼する高島勲先生と、日本を代表する

高島 勲(演出)

この度、日本フィルハーモニー交響楽団の新たなプロジェクト「オペラの旅」に、広上淳一氏と共に《仮面舞踏会》の演出を手がけることになりました。広上氏とは長年の信頼関係があり、今回、音響の良いホールでオペラを上演するという新たな試みに共に挑戦できることを大変光栄に思います。

これまでの舞台経験を活かし、音に集中し、作曲家の意図を最大限に引き出す演出を目指します。特に、サントリーホールでのオペラ演出は初めてですが、舞台装置がない中で衣裳や照明、そして振り付けを効果的に用いることで、ヴェルディが描きかけた「赦し」という深遠なテーマを、観客の皆様感じていただけるよう工夫を凝らします。

《仮面舞踏会》は、豪華絢爛な舞踏会

歌手たちとのコラボレーションで、新たなオペラシリーズを立ち上げることになりました。この企画は、日本フィルの新たな可能性を引き出し、多くの方にオペラの魅力を伝えることを目指しています。

東京音楽大学合唱団にも参加してもらい、若い音楽家たちがプロの演奏に触れる機会を提供したいとも考えています。

このオペラシリーズが、日本フィルの新たな歴史の始まりとなることを願っています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

の裏に隠された人間の本性を描いた作品ですが、単なる歴史劇にとどまらず、現代社会にも通じる普遍的なテーマを扱っています。政治における暗殺や、恋愛における裏切りなど、現代の私たちも直面する問題を、ヴェルディは音楽を通して深く描き出しています。

今回の公演では、衣裳や、振り付けによって登場人物たちの感情を表現し、観客の皆様を物語の世界へと誘います。また、サイドプログラムも充実させ、オペラをより深く楽しんでいただけるような取り組みも行っています。

広上氏との長年の信頼関係を基に、そして、日本フィルの素晴らしい演奏とともに、観客の皆様忘れられないオペラ体験を提供できるよう、全力を尽くしてまいります。

中村恵理(アメーリア役)

《仮面舞踏会》でアメーリア役を務めさせていただき中村恵理です。これまで日本フィルハーモニー交響楽団の皆様とは「第九」で共演させていただきましたが、オペラ作品としてご一緒するのは今回が初めてです。「オペラの旅」第1作目にお声がけいただき、大変光栄に感じております。物語では、政治的なテーマと家庭内の葛藤が複雑に絡み、アメーリアの内面が大きな政治ドラマへと展開していきます。現代にも通じるテーマがあり、役柄に深い共感を覚えています。

また、私が海外で活動するオペラ歌手ということで、「日本での演奏活動はいかがですか?」と事前に質問をいただ

ておりますが、私のスタンスはどこにいても変わりません。今回はサントリーホールのような素晴らしい会場で、今作品に出演できることを誇りに感じるとともに、オペラやクラシック音楽がさらに多くの方に楽しんでいただけるよう、日本語字幕だけではなく、英語字幕の今後の導入なども期待しています。この素晴らしい「オペラの旅」シリーズが若い世代にとっても活動の場として続くことを願い、公演に向けて全力を尽くしてまいります。

宮里直樹(リッカルド役)

リッカルド役を務めさせていただきまず、宮里直樹です。昨年、宮崎での《仮面舞踏会》でこの役の難しさを痛感しました。歌い続ける役で、僕自身にとっても大きな挑戦です。

広上先生や中村さん、日本フィルの皆さんと再びこの作品に取り組めることを大変光栄に思います。前回の経験から、この役に対する恐怖心も少しありますが、同時に大きな喜びを感じています。

今回は舞台オペラではないとのことですが、衣裳を着用し、動きも取り入れながら、オペラとして真摯に向き合いたいと思います。この作品の魅力がお客様

に伝わるよう、全力を尽くします。

「オペラの旅」の幕開けとなる今回の公演を成功させ、次のステップへと繋げたいと考えています。広上先生、高島さん、日本フィルの皆さん、そして素晴らしい歌手の皆と力を合わせ、素晴らしい舞台をお届けできるよう頑張りますので、ぜひサントリーホールへ足をお運びください。



©堀田功丸

ヴェルディ:オペラ《仮面舞踏会》 (セミ・ステージ形式/全3幕/字幕つき)

2025年4月26日(土) 17:00
27日(日) 17:00

サントリーホール

指揮:広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)]

演出:高島 勲

アメーリア:中村 恵理

リッカルド:宮里 直樹

レナート:池内 響

ウルリカ:福原 寿美枝

オスカル:盛田 麻央

シルヴァーノ:高橋 宏典

サムエル:田中 大揮

トム:杉尾 真吾

合唱:東京音楽大学

振付:広崎 うらん

衣裳:桜井 久美(アトリエヒノデ)

照明:岩品 武顕

舞台監督:幸泉 浩司

副指揮:喜古 恵理香、荒木 流音生

2024年12月11日(水) 発売

SS ¥12,000 S ¥9,500 A ¥8,000

B ¥6,500 C ¥5,000

D ¥3,000※一部見切れあり/電話のみ

Ys(25歳以下) ¥4,000*

Gs(70歳以上) ¥5,000*

*SS,S,D除く



特設ページはこちら▶

2024/2025 春季シーズン 名曲コンサート カーチュン・ウォンセット券

お得!!

2024年12月5日(木) 10:00 発売

S席セット ¥11,000 A席セット ¥9,000

※セット券は各種会員の割引特典は併用できません。予めご了承ください。

第409回名曲コンサート

サントリーホール

2025年 3月1日(土) 14:00 開演

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]

ヴァイオリン:小林 美樹

伊福部昭:日本組曲

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲

ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲《展覧会の絵》



©Ayane Sato

1回券 料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,500
Gs (65歳以上) ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,000

2024年
12月24日(火) 発売

第410回名曲コンサート

サントリーホール

2025年 5月25日(日) 14:00 開演

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]

ヴァイオリン:服部 百音

シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 二短調 op.47

マーラー:交響曲第5番 嬰ハ短調



©Ayane Sato

1回券 料金 S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,500
Gs (65歳以上) ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,000

2025年
2月14日(金) 発売

【お申込み】 日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 (平日10時-17時)
日本フィルチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp> (24時間購入可能)



あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、
あらゆる地域へ、世界へ

日本フィル 春休みオーケストラ探検 みる・きく・さわるオーケストラ! 開催

これまで日本フィルは、オーケストラによる音楽ワークショップの日本における牽引役として、積極的に子どもたちとのワークショップやエデュケーション・プログラムの実績を築いてきました。

毎年、杉並公会堂で開催している「春休みオーケストラ探検」は今年で16回目を迎えます。0歳から入場いただける公演で、毎回異なるテーマを設定し、「五感で楽しむフェスティバル」として、多くの子どもたち、ご家族に楽しんでいただいています。

オーケストラコンサートでは、子どもたちに聴いてもらいたい名曲を、飽きのこない1時間プログラムで組み合わせ、指揮者・和田一樹さん、進行・石井あみさんと一緒に体験的に鑑賞できる内容となっています。

オーケストラコンサートの前には杉並公会堂全館を使用した様々なアートイベントを予定しています。



©山口敦



©山口敦

日本フィル 春休みオーケストラ探検
みる・きく・さわるオーケストラ!

①2025年3月29日(土) 11:50 開演 完全入替
②2025年3月29日(土) 15:50 開演
会場:杉並公会堂

出演

指揮:和田一樹 お話:石井あみ

プログラム

ビゼー:歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」
アンダーソン:シンコペイテッド・クロック
エルガー:《威風堂々》第1番 ほか
※曲目は変更となる可能性があります。

問い合わせ:日本フィル・サービスセンター
電話:03-5378-5911 (平日10時-17時)

子どもたちの五感をひらく体験イベント

・日本フィルメンバーによるリレー・ソロコンサート
・オーケストラ公演のプログラムをテーマにしたワークショップ
・杉並公会堂館内を巡るスタンプラリー など

2025年1月8日(水) 10:00 チケット発売開始

全席指定
大人 3,000円(税込)
子ども(中学生未満) 2,500円(税込)

※公演時間約50分(途中休憩なし)

※0~3歳はひざ上無料。お席が必要な場合はチケットをご購入下さい。
※推奨年齢:4歳以上 ※このイベントには託児サービスはありません。

公演の詳細はこちらから
ご覧いただけます。



未来への想像は、紙で広がる。



FSC® 森林認証紙

森林管理に関するFSCの原則と規準では、「森林のもたらすサービスや価値の維持・向上」、
「価値のある森林生態系を守ること」などが求められており、生物多様性の保全が図られています。



う
る
お
い
す
こ
や
か
に
ず
つ
と

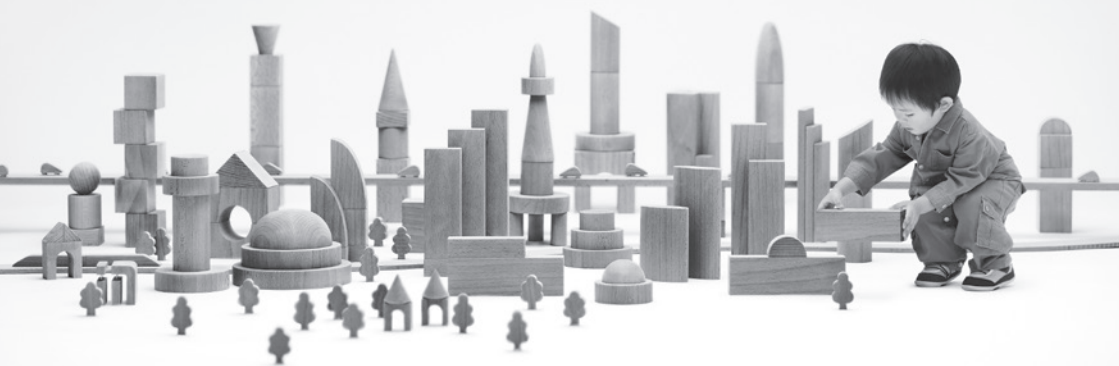


お求めはお近くのスーパー、ドラッグストア等で。

自然派のロングセラー アロエエキス配合スキンケア
(保湿成分)

ウテナ モイスチャーは1983年生まれ いつもずっと あなたのそばに

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in 鹿島

木を植え、
森を育てることも、
街づくりの
大切な一部なんです。

三井不動産グループは北海道で約5,000ヘクタールの森林を保有、管理しています。その大きさは東京ドーム約1,063個分。この森が吸収するCO2は年間、約21,315トンにもなるそうです。人の手で1本1本苗木を植え、下刈り、間伐などの手入れをして健康な森に育てる。そして、伐採適期を迎えた木材や間伐材を、ららぽーとや日本橋の街づくりに活用し、「植えるー育てるー使う」のサイクルを回し続けて、森を守っているんだって。街づくりには森や緑を生かすことが大切なんだな、と思いました。



三井のすずちゃん



◀ 三井のすずちゃんページはこちら

さあ、街から未来をかえよう

& 三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

三井不動産グループ保有林 北海道 深川市湯内

ストーリーを変える、 ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。
化学の力で、もっとうい未来へ。

UBE Transform
Tomorrow
Today



日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
<http://www.suginamikoukaidou.com/>
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人が繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力もちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたくと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額 を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

その他右ページも御覧ください

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。

右の二次元コードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

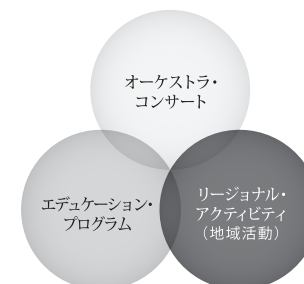


ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

バトロネージュ 上田 泰邦 東京都 / 齋藤 共子 神奈川県

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

バトロネージュ [個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費: 3万円 / 5万円 / 12万円 / 20万円 / 50万円 / 100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様は日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。
年会費: 1万円

特別会員 [法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ: 日本フィル事務所 TEL03-5378-6311 (10-18時、土日祝日休)

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス
代表取締役社長 船越 真樹

株式会社アイレ 代表取締役社長 荒江 健

アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫

赤坂維新號 代表取締役社長 鄭 東静

あすか製菓株式会社 代表取締役社長 山口 惣大

株式会社アトックス 代表取締役社長 矢口 敏和

株式会社アドバンス都市開発
代表取締役 古澤 孝

株式会社アダービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司

イーツソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世

株式会社泉商会 代表取締役 八方 健介

株式会社泉放送制作 代表取締役社長 日下部恵一

磯野不動産株式会社 代表取締役社長 磯野 計一

稲畑産業株式会社 代表取締役社長 稲畑勝太郎

株式会社インフォーマート 代表取締役社長 中島 健

株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇

内野株式会社 代表取締役社長 内野 信行

宇部エクシモ株式会社 代表取締役社長 古賀 源二

株式会社AIT 代表取締役社長 大熊 克美

ABCシステム株式会社 代表取締役社長 兎玉 光宏

株式会社エイブル&パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂

株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫

NGB株式会社 代表取締役社長 宮崎 潔

株式会社エルイーテック 代表取締役社長 坂田 洋一

エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治

大隅ミート産業株式会社 代表取締役社長 小森 浩一

株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

岡三証券株式会社
荻窪タウンセブン株式会社

小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕

株式会社ONODERA GROUP
代表取締役会長兼社長 小野寺裕司

公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦

株式会社カカコム 代表取締役社長 村上 敦浩

鹿島建設株式会社 代表取締役会長 押味 至一

鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄

鹿島道路株式会社 代表取締役社長 吉田 英信

株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎

株式会社カナデン 代表取締役社長 本橋 伸幸

株式会社 歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正

株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂

社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文

川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己

北野建設株式会社 代表取締役会長兼社長 北野 貴裕

キッコーマン株式会社
代表取締役社長CEO 中野祥三郎

キャノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗富士夫

キューピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 高宮 満

共和建物管理株式会社 代表取締役 平 浩

株式会社協和日成 代表取締役社長 川野 茂

キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長 磯崎 功典

株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇

株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次

グローブシップ株式会社 代表取締役社長 矢口 敏和

京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田雄一郎

株式会社京王設備サービス 取締役社長 梁瀬 哲夫

京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史

株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛

株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明

コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和

株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸

株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫

コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄

株式会社コトブキ 代表取締役社長 深澤 幸郎

株式会社コンサートサービス 代表取締役 佐藤 修悦

佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一

三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一

山九株式会社 代表取締役社長 中村 公大

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 新浪 剛史

三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸

ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見 善博

ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志

株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三

株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎

清水建設株式会社 代表取締役社長 井上 和幸

株式会社集英社 代表取締役社長 廣野 眞一

株式会社シェルター 代表取締役会長 木村 一義

ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也

株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮

株式会社ジンテック 代表取締役 柳 秀樹

杉山商事株式会社 代表取締役会長 杉山 健

住友パークライト株式会社 代表取締役社長 藤原 一彦

株式会社スプリックス 代表取締役社長 常石 博之

全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一

第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一

株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子

大正製薬株式会社 取締役会長 上原 明

大同生命保険株式会社 代表取締役社長 北原 睦朗

大日本除虫菊株式会社 代表取締役社長 上山 直英

大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久

高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人

千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 永田 裕之

千代田化工建設株式会社 代表取締役社長 太田 光治

株式会社千代田テクノ 代表取締役会長 細田 敏和

塚本総業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清

ダイヤモンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカケンメイ

学校法人帝京大学 理事長 沖永 佳史

株式会社T&Aマネジメント 代表取締役 長田忠千代

THK株式会社 代表取締役会長 寺町 彰博

株式会社電通 代表取締役 社長執行役員 佐野 傑

東亜建設工業株式会社 代表取締役社長 早川 毅

株式会社東急コミュニティー 取締役社長 木村 昌平

東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 城田 宏明

株式会社東京交通会館 代表取締役社長 興野 敦郎

東京都杉並区 区長 岸本 聡子
 東京美装興業株式会社 代表取締役社長 八木 秀記
 東洋熱工業株式会社 代表取締役社長 谷口 昌伸
 戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則
 学校法人東京音楽大学 理事長 丸山恵一郎
 株式会社永田音響設計 代表取締役社長 小口 恵司
 株式会社永谷園ホールディングス
 代表取締役会長 永谷栄一郎
 株式会社ナミキ 代表取締役会長 並木 洋一
 日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 三輪 正浩
 株式会社ニフコ 代表取締役社長 柴尾 雅春
 日本精工株式会社
 取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊
 日本製鉄株式会社 代表取締役社長 今井 正
 日本電子株式会社
 代表取締役社長 兼 CEO 大井 泉
 日本パーカラライジング株式会社
 株式会社ネイチャーズウェイ
 代表取締役社長 萩原 吉晃
 根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子
 パイオニア株式会社
 代表取締役兼社長執行役員 矢原 史朗
 ハウス食品グループ本社株式会社
 代表取締役社長 浦上 博史
 株式会社博報堂 代表取締役社長 水島 正幸
 ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎
 阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一
 東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹
 株式会社美禰 代表取締役 堀 哲昭
 非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸

ひびき・パース・アドバイザーズ
 代表取締役社長 清水 雄也
 富国生命保険相互会社 代表取締役社長 米山 好映
 富士テレコム株式会社 代表取締役社長 西田 孝一
 古河産業株式会社 代表取締役社長 伊藤 啓真
 合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子
 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
 ホッカンホールディングス株式会社
 代表取締役社長 池田 孝資
 株式会社ポニーキャニオン
 代表取締役社長 吉村 隆
 本田技研工業株式会社
 取締役 代表執行役社長 三部 敏宏
 株式会社牧野フライス製作所
 取締役社長 宮崎正太郎
 マネックスグループ株式会社
 代表執行役社長CEO 清明 祐子
 株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩
 株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村 正博
 丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎
 株式会社三井住友銀行 頭取CEO 福留 朗裕
 三井倉庫ホールディングス株式会社
 代表取締役社長 古賀 博文
 三井不動産株式会社 代表取締役会長 菰田 正信
 株式会社三越伊勢丹ホールディングス
 特別顧問 石塚 邦雄
 三菱HCキャピタル株式会社
 代表取締役 社長執行役員 久井 大樹
 三菱オートリース株式会社
 代表取締役社長 中野 智

三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 藤井 政志
 三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤
 三菱自動車工業株式会社
 取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者 加藤 隆雄
 三菱重工業株式会社 取締役社長 泉澤 清次
 三菱倉庫株式会社 相談役 宮崎 毅
 株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一
 三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
 取締役社長 兼 グローバルCEO 小林 真
 武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通
 明治安田生命保険相互会社
 取締役代表執行役社長 永島 英器
 株式会社明和住販流通センター
 代表取締役 塩見 紀昭
 メッドサポートシステムズ株式会社
 代表取締役 谷川ひとみ
 株式会社メディアグラフィックス
 代表取締役社長 我妻まどか
 株式会社メルコホールディングス
 代表取締役社長 牧 寛之
 森社会保険労務士事務所 所長 森 康之
 株式会社ヤクルト本社 相談役名誉会長 堀 澄也
 山崎製パン株式会社
 UBE株式会社 取締役会長 山本 謙
 ユウキフーズシステム株式会社
 代表取締役社長 田中 秀和
 横河電機株式会社
 米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介
 リガク・ホールディングス株式会社
 代表取締役社長 川上 潤

株式会社リョーサン
 代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦
 株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広
 株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也
 ローム株式会社
 代表取締役社長 社長執行役員 松本 功
 匿名5名

(2024年12月1日現在・50音順・敬称略)

パトネージュご芳名

会田 雅美 東京都
青山 やすし 東京都
明田 重樹 東京都
浅野 純次 埼玉県
朝吹 英和 東京都
厚田 理郎 神奈川県
阿部 俊彰 神奈川県
新井 康允 神奈川県
荒木 秀隆 東京都
荒時 康一郎 東京都
有江 純子 神奈川県
安西 祐一郎 東京都
飯田 桂子 東京都
飯田 百栄 東京都
家近 茂 東京都
家近 信子 東京都
五十嵐 重雄 東京都
池浦 慧博 東京都
池田 隆光 東京都
池野 光司 東京都
池谷 卓志 千葉県
石澤 邦雄 東京都
石塚 寿恵 神奈川県
石橋 秀雄 神奈川県
伊藤 貴昌 東京都
伊藤 好彦 東京都
伊藤 直人 東京都
井上 浩良 神奈川県
井上 順子 神奈川県
岩瀬 達明 神奈川県
岩田 泰邦 東京都
上田 陽子 東京都
上野 悦子 東京都
植村 昭三 神奈川県
宇賀 神裕子 神奈川県
白井 潤彦 神奈川県
内村 恒彦 東京都
江口 麗子 東京都
大上 二三雄 神奈川県
大久保 昇 埼玉県
大島 晶子 埼玉県
大竹 広明 神奈川県
太田 五郎 神奈川県
太田 達男 千葉県
大塚 宣夫 東京都
大塚 裕康 埼玉県
大森 京太 東京都
岡本 普 東京都

岡田 尚子 埼玉県
岡田 史子 神奈川県
岡田 洋子 東京都
尾上 けい子 東京都
小野 寺健 岩手県
小野 孝一 東京都
小幡 尚生 東京都
小原 道生 東京都
折田 昌子 東京都
折田 沙織 神奈川県
風間 裕三 福島県
賀澤 英裕 東京都
鹿島 重二 東京都
片貝 英二 東京都
片山 茂 千葉県
片山 史子 東京都
桂 壹康 静岡県
加藤 丈夫 東京都
加藤 頼修 埼玉県
金子 清肇 千葉県
金子 肇 千葉県
上條 貞夫 東京都
香山 和子 神奈川県
川合 孝一 千葉県
河川 義宏 東京都
畑野 雅幸 神奈川県
菅池 幸和 東京都
喜多 久江 東京都
北村 篤嗣 埼玉県
北村 盛弘 神奈川県
木下 惠司 神奈川県
木村 隆郎 東京都
草刈 哲男 千葉県
久野 朝子 東京都
熊谷 宏樹 東京都
倉谷 真知子 埼玉県
畔柳 信雄 東京都
甲賀 一宏 埼玉県
胡口 靖夫 東京都
小林 和夫 東京都
小林 ずえ 埼玉県
小林 裕美 東京都
小林 容彦 東京都
小駒 見康 東京都
駒見 昌子 神奈川県
齋藤 共子 神奈川県
酒井 伸 長野県

酒巻 英哲 東京都
定藤 武男 神奈川県
佐藤 寛之 東京都
佐藤 正昭 東京都
佐藤 正知 東京都
佐藤 順英 東京都
座間 淑美 神奈川県
澤井 敏雄 東京都
島田 精一 東京都
清水 幸雄 東京都
下河辺 美知子 神奈川県
河辺 貴司 東京都
生島 真帆子 大阪府
新庄 真帆子 東京都
晋友会 合唱団 東京都
菅 千太郎 東京都
杉山 秀子 東京都
杉山 浩明 東京都
杉山 祐二 東京都
鈴木 兼英 東京都
尾石 泰厚 東京都
尾石 厚毅 東京都
仙石 郁郎 東京都
仙石 幸幸 大分県
宗 幸幸 東京都
宗 幸雄 東京都
空田 幸幸 東京都
高井 延宏 神奈川県
高井 幸雄 東京都
高須 幸雄 東京都
高須 信喜 東京都
高橋 信喜 東京都
岡中 哲郎 東京都
岡中 哲郎 東京都
富知 男博 東京都
中稀 一郎 東京都
田中 将介 神奈川県
田中 基男 神奈川県
田村 浩章 山梨県
田村 和久 東京都
塚本 雅夫 東京都
辻 厚伸 東京都
井田 久之 東京都
津田 博孝 東京都
常石 博孝 東京都

一般社団法人 東京都
東京プロイデ 合唱団 東京都
東瀬 朗 新潟県
時枝 直満 東京都
徳田 陽三 東京都
外山 誠利 東京都
中尾 誠利 神奈川県
ナガオカケンメイ 東京都
中島 奈穂子 東京都
中島 美知子 東京都
長瀬 雅則 東京都
中園 和博 東京都
仲西 喜義 東京都
中野 祥子 東京都
中野 琢夫 東京都
中村 公一 東京都
中村 禎良 東京都
那須 雄治 東京都
棗 年紀・綾介 東京都
新倉 啓介 東京都
西澤 公豊 東京都
西谷 公男 東京都
西村 醇子 神奈川県
日本フィルハーモニー 東京都
協会 沢支部 埼玉県
二村 英之 東京都
布村 清美 東京都
沼口 順子 東京都
根本 直之 千葉県
野谷 文昭 千葉県
箱崎 一彦 千葉県
蓮見 正純 東京都
濱田 尚人 東京都
原 俊博 静岡県
針谷 史博 東京都
日高 好男子 東京都
平井 邦子 神奈川県
平田 邦夫 神奈川県
平田 正哉 神奈川県
平林 直哉 東京都
広瀬 勝貞 大分県
廣田 晴子 神奈川県
深沢 直人 東京都
福井 敏正 神奈川県
福田 英次 東京都
福田 昭夫 東京都

藤井 裕一 東京都
井沢 薫子 東京都
藤本 由紀子 東京都
藤原 真也 東京都
星 桂太朗 東京都
細谷 義徳 千葉県
野澄 夫 東京都
正木 信汎 東京都
増井 俊彦 神奈川県
増井 文彦 神奈川県
松尾 文彦 東京都
松田 讓 東京都
松村 美希 東京都
真野 美千代 東京都
三木 惠美子 神奈川県
三木 繁光 東京都
峯島 茂之 東京都
宮上 純子 兵庫県
村上 洋美 埼玉県
村上 泰郎 東京都
村上 泰 東京都
持田 徹司 神奈川県
元永 徹司 神奈川県
森 稔樹 神奈川県
森川 智之 神奈川県
森田 大輔 神奈川県
森田 敏和 東京都
矢口 俊紀 千葉県
矢倉 典彦 東京都
山口 幸子 東京都
山口 仁栄 東京都
山口 達之 長崎県
山口 みどり 東京都
山口 章弘 長野県
山越 敏之 神奈川県
山田 宏己 東京都
山村 美絵 東京都
山村 高棟子 東京都
山本 直次 東京都
油井 直 東京都
横江 健志 千葉県
吉川 美保 東京都
吉川 世知 東京都
吉田 恵子 神奈川県
吉谷 美子 神奈川県
吉村 真幸 埼玉県
吉村 匡則 東京都

若林 昭子 東京都
林渡 和子 東京都
渡邊 直久 東京都
渡邊 裕志 山口県
M.K. 匿名56名

(2024年10月31日現在)
50音順・敬称略

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>



Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で視聴可能期間は何度でも視聴いただけます(販売期間は特に記載のないものは6ヶ月です)。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

7月6日 さいたま定期演奏会 指揮:鈴木 優人
ベートーヴェン:交響曲第7番

7月12日 東京定期演奏会 指揮:広上 淳一
シューベルト:交響曲第8番《ザ・グレート》

9月6日 東京定期演奏会 指揮:カーチュン・ウォン
ブルックナー:交響曲第9番

9月13日 さいたま定期演奏会 指揮:原田 慶太楼 ヴァイオリン:辻 彩奈
モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第4番

9月21日 横浜定期演奏会 指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:ゲルハルト・オピッツ
ブラームス:ピアノ協奏曲第2番 チャイコフスキー:交響曲第4番

10月18日 東京定期演奏会 指揮:小林 研一郎 ピアノ:高木 竜馬
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 ブラームス:交響曲第1番

10月27日 名曲コンサート
指揮:広上 淳一 ソプラノ:中村 恵理 メソソプラノ:福原 寿美枝 テノール:宮里 直樹
バリトン:高橋 宏典 オルガン:長井 浩美 合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団
合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団
J.S.バッハ:主よ、人の望みの喜びよ ヴェルディ:レクイエム 他

11月2日 東京定期演奏会 指揮:オーボエ:フランソワ・ルルー
ラフ:シンフォニエッタ メンデルスゾーン(タルクマン編曲):「無言歌集」より
メンデルスゾーン:交響曲第3番《スコットランド》

11月9日 さいたま定期演奏会 指揮:小林 研一郎
リムスキー=コルサコフ:交響組曲《シェエラザード》

11月29日 東京定期演奏会 指揮:パヴェウ・カプワ
シューマン:交響曲第2番

定期演奏会のシーズン開始月変更および 横浜定期演奏会開演時間の変更について

日本フィルは2026年に創立70周年を迎えます。ひとえに定期会員をはじめ、日本フィルを支えていただいた皆様のおかげでございます。改めまして深く御礼申し上げます。

70周年を契機として、日本のさまざまな慣習・制度に合わせ定期演奏会のシーズンを4月開始といたします。また横浜定期演奏会は開演時間を早め、終演後の時間をゆとりをもって楽しんでいただきたいと思います。詳細は以下の通りとなります。

- ① 2026-2027シーズンより東京・横浜定期演奏会を4月から翌年3月までといたします
従来9月から翌年7月となっております定期演奏会のシーズンを、<2026/2027シーズン>より4月~翌年3月に変更いたします。
- ② 定期演奏会のシーズンスタート変更に伴い、2025年9月~2026年3月を【移行期間(プレ70周年期間)】とし、東京・横浜とも6回の定期演奏会を開催します。
継続のご案内時期については改めてお知らせいたします。
- ③ 横浜定期演奏会の開演時間変更について(17:00開演→15:00開演)

現在17:00開演としている横浜定期演奏会の開演時間を、2025年9月開始のプレ70周年期間より【15:00開演】(14:10開場)といたします。また、横浜カルチュラルワンダーランドの一環として取り組む公演後の「アフターイベント」等の拡充についても併せて取り組んでまいります。

2024年9月	2025年8月	2025年9月	2026年3月	2026年4月	2027年3月
2024/2025シーズン (8月・2月を除く全10回)		移行期間=プレ70周年期間= (2月を除く全6回)		新2026/2027シーズン (8月・2月を除く全10回)	
秋季	春季			半期春夏	半期秋冬
2025年2月 2025年3月				2026年9月	2026年10月

	2024/2025シーズン (2024年9月~2025年8月)	移行期間(プレ70周年期間) (2025年9月~2026年3月)	2026/2027シーズン以降 (2026年4月~2027年3月)
東京/横浜定期演奏会 シーズン期間について	(従来通り) 現シーズンは従来通りの 期間	(変更) ・2月を除く6回の定期 演奏会を開催 ・この期間の定期会員は 例外的に6回分にて募集 (継続・新規)を行います	(変更) 4月~翌年3月をシーズン期間とする (8月・2月には定期演奏会開催無し) 【年間シーズン】→4月~翌年3月 ※8月・2月を除く全10回 【半期春夏】→4月~9月 ※8月を除く全5回 【半期秋冬】→10月~翌年3月 ※2月を除く全5回
横浜定期演奏会 開演時間について	(従来通り) 17:00開演	(変更) 15:00開演	(変更) 15:00開演

◆【重要】定期演奏会のシーズン開始月変更および横浜定期演奏会開演時間の変更について

70周年を契機として、日本のさまざまな慣習・制度に合わせて定期演奏会のシーズンを4月開始といたします。また横浜定期演奏会は開演時間を早め、終演後の時間をゆとりをもって楽しんでいただきたいと思います。

◆ 出演者変更のお知らせ

12月8日(日)第24回相模原定期演奏会に出演予定のソリスト萩原麻未氏は、第2子妊娠に伴う体調不良のため降板することとなりました。

萩原麻未氏のご健康を楽団員一同お祈り申し上げます。

なお、当日のソリストには伊藤恵氏(ピアノ)が出演いたします。指揮者・プログラムに変更はございません。

なお、この変更に伴うチケット代の払い戻しはございません。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

第24回相模原定期演奏会

2024年12月8日(日) 14:00開演 相模女子大学グリーンホール

指揮:下野 竜也
ピアノ:伊藤 恵*

<オール・ベートーヴェン・プログラム>
ベートーヴェン:歌劇《フィデリオ》序曲
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》*
ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》

定期会員券ご寄付のお願い

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

11月の東京定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。

(50音順・敬称略) 匿名3名

ご寄付の方法

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターに

お電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。
※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。
※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いします。
※ご寄付いただいた定期会員の皆様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1
TEL: 03-5378-5911(平日10時~17時) FAX: 03-5378-6161(24時間) E-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

◆ もうすぐ発売

2024年12月5日(木) 発売

2024/2025春季シーズン名曲コンサート
お得なカーチュン・ウォンセット券

2025年3月1日(土) 第409回名曲コンサート
2025年5月25日(日) 第410回名曲コンサート

詳細はP20をご覧ください。

2024年12月11日(水) 発売

広上淳一&日本フィル「オペラの旅」Vol.1
《仮面舞踏会》

2025年4月26日(土)、27日(日)
サントリーホール

詳細はP19をご覧ください。

2024年12月20日(金) 発売

2024/2025春季東京定期演奏会1回券
2024/2025春季横浜定期演奏会1回券

詳細は挟み込みのチラシをご覧ください。

2024年12月24日(火) 発売

第409回名曲コンサート

2025年3月1日(土) 14:00開演
サントリーホール

指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者]
ヴァイオリン:小林 美樹

伊福部昭:日本組曲
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲
ムソルグスキー(ラヴェル編曲):
組曲《展覧会の絵》

S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000 C¥5,000
P¥4,500 Gs(70歳以上)¥5,000
Ys(25歳以下)¥2,000



Table with conductor and staff information: 創立指揮者 渡邊 暁雄, 首席指揮者 カーチュン・ウォン, etc.

Table listing musicians and their instruments: ソロ・コンサートマスター 扇谷 泰朋, ソロ・コンサートマスター 木野 雅之, etc.

Table listing board members: 理事長(代表理事) 平井 俊邦, 副理事長(代表理事) 五味 康昌, etc.

Table listing board members: 監事 上條 貞夫, 監事 加藤 丈夫, etc.

Table listing board members: 名誉顧問 熊谷 直彦, 名誉顧問 島田 晴雄, etc.

ミュージケーションディレクター: マイケル・スベンサー

Table listing staff members: マネジメント・スタッフ: 浅見 浩司, 磯部 一史, etc.

シニア・パートナー: 新井 永島, 義郎, 南部 洋一

Table listing friends: 団友: 哲夫, 青山 均, 赤堀 泰江, etc.

Table listing orchestra members: 楽団長 星野 究, チーフステージマネージャー 阿部 紋子, etc.

チケットお申込・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911(平日10時~17時)

eチケット▶ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>

公式 X(旧Twitter)
@Japanphil



公式アカウント



公式インスタグラム



日本フィル公式YouTube YouTube

「2分でわかる!
大人のためのオーケストラ入門Plus+」

毎月10日・20日にお届け



「Welcome クラシック」

毎週水曜日 22:54~23:00 放送中!!